

第4次総合計画進捗状況調査結果一覧 (令和6年度実施)

南伊勢町

調査票① 第4次南伊勢町総合計画施策目標及び達成状況

施策番号	施策名	施策の目標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
111	商工業の持続化と雇用の促進	ふるさと納税の寄付額	目標値					350,000千円				500,000千円
			現状値・実績値	192,395千円	163,374千円	156,842千円						
112	地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光入込客数	目標値					250,000人				300,000人
			現状値・実績値	190,630人	194,327人	256,252人						
113	活気ある水産業の実現	新規漁業就業者受入経営体数	目標値					3経営体/年				3経営体/年
			現状値・実績値	3経営体/年	8経営体/年	16経営体/年						
114	魅力ある農林業の実現	新規認定農業者数	目標値					1人/年				1人/年
			現状値・実績値	0人/年	1人/年	1人/年						
211	災害に強いまちの確立	防災訓練参加率の向上	目標値					40.0%				50.0%
			現状値・実績値	27.0% ※参考 令和3 年度中止のため令和2 年度	33.60%	30.30%						
212	治山・治水・海岸の保全	河川の水位観測が可能な河川の状況	目標値					14河川				18河川
			現状値・実績値	11河川	14河川	17河川						
213	水道の安定供給	水道有収率	目標値					68.7%				68.9%
			現状値・実績値	67.5%	68.0%	68.1%						
214	交通と生活の安全安心対策	交通事故発生件数の減少	目標値					15.3%				15.0%
			現状値・実績値	15.4%	17.90%	17.30%						
221	住環境の整備	「暮らしやすい住まいと住環境がある」と回答した人の割合(20～44歳) アンケート結果	目標値					25.0%				30.0%
			現状値・実績値	22.0%	未調査	17.5%						
222	道路基盤の整備	国道260号における町内全体の移動時間の短縮(累計)	目標値					1分				5分
			現状値・実績値	0分	0分	0分						
223	交通手段の充実	バス利用者数	目標値					53,550人				53,550人
			現状値・実績値	44,458人	42,469人	38,840人						
224	生活排水対策の推進 (持続可能な生活排水対策)	汚水処理人口普及率	目標値					79.4%				80.6%
			現状値・実績値	78.1%	78.8%	78.9%						
225	生活環境の保全と環境美化	1人1日当たりのごみ排出量【g/人日】	目標値					971g				947g
			現状値・実績値	996g (令和2年度数値)	845g (令和4年度数値)	759g (令和5年度数値)						

施策番号	施策名	施策の目標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
226	社会保障の健全な運営	国民健康保険特定健康診査受診率	目標値					50.0%				60.0%
			現状値・実績値	36.7%	39.2%	39.5% (速報値)						
311	子育て支援の充実	南伊勢町で子育て施策が充実していると感じている人の割合(20～44歳)	目標値					60.0%				70.0%
			現状値・実績値	43.1%	46.0%	43.0%						
312	若者定住・移住対策の推進	18～44歳の年代の町の制度を使った移住者数	目標値					15人				15人
			現状値・実績値	13人	24人	10人						
313	学校教育の充実と環境整備	児童生徒へのアンケートにおいて「自ら積極的に地域に関わり、地域への関心や理解を深めることができた。」と回答した割合	目標値					85.0%				90.0%
			現状値・実績値	81.0%	86.50%	85.90%						
314	地域での青少年の健全育成	子どもたちが活動できるイベントの参加人数	目標値					200人				200人
			現状値・実績値	45人	45人	261人						
313	生涯学習の充実	生涯学習講座受講者数	目標値					250人				300人
			現状値・実績値	207人	154人	156人						
412	芸術文化の振興と伝統文化の継承	資料館(愛洲の館・東宮資料保存館)の来館者数	目標値					1,380名				1,430名
			現状値・実績値	1,330名	1,049人	1482人						
413	多様な人材の活躍	審議会等への女性委員の登用割合	目標値					40.0%				40.0%
			現状値・実績値	26.6%	29.4% (4年当初)	31.9% (5年当初)						
414	支えあう地域福祉の推進	困ったときに家族以外で支えてくれる人がいると感じる町民の割合	目標値					67.0%				70.0%
			現状値・実績値	64.3%	69.5%	66.2%						
415	高齢者福祉の充実と地域包括ケアの推進	町内の介護サービス事業所における従業者数	目標値					560人				572人
			現状値・実績値	540人	547人	531人						
416	障がい者の生活環境づくり	就労支援事業所への通所者数	目標値					70人				74人
			現状値・実績値	66人	70人	78人						
421	健康づくりの推進	健康マイレージの参加率	目標値					10.0%				12.0%
			現状値・実績値	7.2%	12.0%	7.0%						

施策番号	施策名	施策の目標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
511	私たちが主役のまちづくりの推進	「オール南伊勢」のまちづくりができていると感じている町民の割合	目標値					50.0%				70%
			現状値・実績値	20.5%	22.6%	28.3%						
512	まちのプロモーション	町公式SNS フォロワー数	目標値					6,000人				7,000人
			現状値・実績値	4,600人	6,203人 (R5.3.1現在)	8,400人 (R6.4.19現在)						
513	自然環境の保全と脱炭素・循環型社会の形成	ごみの資源化率	目標値					18.09%				18.29%
			現状値・実績値	12.60% (令和2年度 数値)	12.39% (令和4年度 数値)	14.70% (令和5年度 数値)						
514	総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	総合計画の達成割合	目標値					80.0%				90.0%
			現状値・実績値	-	32.3%	38.7%						
521	効果的で信頼される自治体経営	「役場が町民目線、町民の立場に立っている」と感じている町民の割合	目標値					50.0%				60.0%
			現状値・実績値	40.1%	40.7%	41.7%						
522	健全な財政運営	早期健全化基準未滿	目標値					早期健全化 基準未滿				早期健全化 基準未滿
			現状値・実績値	実質公債費比率10.2 将来負担比率69.5 (早期健全化基準未滿) 【令和2年度数値】	実質公債費比率10.6 将来負担比率54.9 (早期健全化基準未滿) 【令和3年度数値】	実質公債費比率10.7 将来負担比率48.8 (早期健全化基準未滿) 【令和4年度数値】						

調査票②

調査票② 第4次南伊勢町総合計画重点プロジェクトの目標及び達成状況

活力ある産業・経済プロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	19.9%	22.5%		
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	12.4%	14.0%		
観光商工課	ふるさと納税寄付額	目標値					350,000千円
		現状値・実績値	192,395千円	163,374千円	156,842千円		
観光商工課	南伊勢町の支援制度により起業した事業所数 (R4~R7累計)	目標値					12事業所
		現状値・実績値	2件	3件	4件		

安全安心のまちプロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	37.0%	34.9%		
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	27.0%	25.1%		
建設課	町管理橋梁の耐震化率 ①橋長15m以上の橋梁 ②全橋梁	目標値					①39.68% ②12.09%
		現状値・実績値	①36.51% ②10.78%	①36.51% ②10.78%	①36.51% ②10.78%		
環境生活課	バス利用者	目標値					53,883人
		現状値・実績値	44,458人	42,469人	38,840人		

調査票②

子育て応援プロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	46.2%	42.7%		
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	37.5%	33.2%		
まちづくり推進課	年間出生数	目標値					34人
		現状値・実績値	32人（R2年度数値） 37人（R3年度数値）	26人（R4年度数値）	30人（R5年度数値）		
まちづくり推進課	町の支援制度（新築及び中古住宅取得支援補助金）を使った住宅整備世帯数（R4～R7累計）	目標値					72世帯分
		現状値・実績値	17世帯分（R3年度実績）	23世帯	30世帯		

誰もが元気なまちプロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	42.7%	38.7%		
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	32.3%	31.1%		
まちづくり推進課	困ったときに家族以外で支えてくれる人がいると感じる町民の割合	目標値					67%
		現状値・実績値	64.3%	69.5%	66.2%		
まちづくり推進課	多くの町民の方が交流できる憩いの場が増えたと感じる人の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	28.0%	35.1%		

調査票②

輝きをもてるまちプロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	24.6%	26.4%		
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	18.4%	19.1%		
まちづくり推進課	「オール南伊勢」のまちづくりができていると感じている町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	20.5%	22.6%	28.3%		
まちづくり推進課	南伊勢町は住みやすいまちだと思う町民の割合（20歳～44歳）	目標値					70%
		現状値・実績値	56.5%	50.4%	56.6%		

買い物不便・困難対策プロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	43.0%	44.2%		
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	36.2%	35.2%		
まちづくり推進課	日頃買い物に不便でないと感じる町民の割合（44歳以上）	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	61.5%	55.3%		
まちづくり推進課	買い物不便・困難対策として令和4年度以降新たに取り組んだ事業	目標値					6事業
		現状値・実績値	未実施	4事業	6事業		

プロジェクト名

1. 活力ある産業・経済プロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
1 稼 ぐ 力 を 育 む	稼げる水産業・担 い手づくりスター トアップ事業	持続可能な水産業の実現のための水産業の担い手 不足解決に向けたチームの立ち上げ、水産業の求 人情報の発掘と発信、漁師希望者の受入態勢の整 備に取り組みます。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-1	一般社団法人フィッシャーマンジャパンに集落 支援員を委嘱し、町内の水産業や漁業者への聞 き取りを実施。短・長期の漁業研修等を2回行 い、受入漁業者の発掘・整備を行った結果、1 人の漁業新規就業に繋がった。	集落支援員制度を活用し町内の水産業や漁業者 への聞き取りを実施。一般社団法人フィッ シャーマンジャパンに委託し、短・長期の漁業 研修等を2回行い、受入漁業者の発掘・整備を 行った結果、7人の漁業新規就業に繋がった。	後継者・担い手育成事業だけではなく、 水産資源管理や水産物流通促進に関わる 取組みも進めていく。
	拠点漁港再編整備	持続可能な漁業生産に向け、県下一の水揚げ量を 誇る奈屋浦漁港を中心とした漁港・水産関連 施設の海業用地の整備を含めた再編・強化や災害 リスク対応力強化に取り組みます。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-2	災害発生直後の周辺地域を含む市場の生産体制 の早期再開に必要な防波堤、護岸、岸壁等の耐 震化を図るとともに、緊急物資の海上輸送の陸 揚げ拠点となる耐震強化岸壁の整備を行うこと により、発災時における漁港施設の機能強化を 図る計画を作成。	水産庁に事業計画を提出し、事業認可に向けて 調整した。	県・町・三重外湾漁業協同組合による工 事計画・工程等また、負担金割合の協議 を進めていく。
		流通機能の強化に向け、高度衛生管理に対応した 荷捌き所等の一体的な整備に取り組みます。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-3	品質低下の危害要因を排除した安全で効率的な 作業環境を創出することで、奈屋浦漁港に水揚 げされる水産物の付加価値向上を実現させるよ う三重県・三重外湾漁協・町が中心となり令和 6年度から20年かけて拠点漁港を整備していく 方向で調整している。	水産庁に事業計画を提出し、事業認可に向けて 調整した。	県・町・三重外湾漁業協同組合による工 事計画・工程等また、負担金割合の協議 を進めていく。
	柑橘団地の造成	高い品質と安定した量のミカンが生産できること と、働きやすさ、そして後継者の育成等をつなが て、南伊勢町のミカンのブランド力を支える基盤 整備として、営農環境を格段に改善した柑橘団地 を造成します。	114魅力ある農 林業の実現	水産農林課	1-1-4	営農環境を改善することにより、生産者や担い 手が最も生産しやすい整備方法を検討してい る。	生産者や担い手と、園地の整備方法について話 し合いの場を設け、検討を行った。	県・町・JA・生産者とともに樹園地団地 の整備の場所の選定を行う。
	ふるさと納税拡充 による町内産品の 販路拡大	ふるさと納税の周知方法や販路としての有効活用 方法を町内事業者とともに検討し、取り組む 体制をつくります。	111商工業持続 化と雇用の促進	観光商工課	1-1-5	令和5年9月ごろに返礼品登録事業者に対し、令 和5年10月1日から総務省がふるさと納税に関す る考え方の改正を行ったので、その説明会を開 催する予定。	説明会を開催した。改正内容について説明。	随時説明会を開催する。
	産業 ICT 化支援 と通信環境整備	スマート農林水産業をはじめとした各種分野にお けるICT 導入を促進します。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-6	生簀やいかだ周辺の海の状況（水温、塩分濃 度、酸素濃度等）をリアルタイムに監視できる 「うみログ」を実証実験で町内海域に10台設置 した。	継続して「うみログ」をリース設置し、利用者 アンケートを漁業者に対して実施した。その結 果、今後も利用継続を望む声が多く、水産庁の 令和6年度予算にて購入する方向で進めてい く。	水産庁のスマート化推進支援事業（漁協 申請2/3）に申請し、漁協所有のもと継 続した利用を進め、町の海況調査との連 携を図る。
			114魅力ある農 林業の実現	水産農林課	1-1-7	ICTによる農林業の省力化事業を検討してい る。	ICTによる農林業の省力化事業について、農業 者と課題を検討した。	今後、ICT導入に向けて検討を行ってい く。

		ICT 化に伴い必要となる通信環境の更なる向上に努めます。	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	1-1-8	県等を通じ通信エリアの改善の要望を実施。一部通信環境の改善がされた。（トンネル周辺等）	県等を通じ通信エリアの改善の要望を実施。一部通信環境の改善がされた。（愛洲の館）	今後も、通信環境の改善を要望していく
その他の取り組み	農林水産業スタートアップ支援の実施	113活気ある水産業の実現	水産農林課	1-1-9	1-1-1と同じ	1-1-1と同じ	1-1-1と同じ	
		114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-1-10	一次産業後継者等育成事業の募集と採用を行った。	一次産業後継者として1名を採用。一次産業就農者確保のための支援を行った。	今後、5事業者への採用を目指して引き続き取り組みを進める	
	森林譲与税を活用した森林整備	114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-1-11	森林の経営管理集積計画策定のための不明森林所有者の検索を行う。	昨年に引き続き、森林の経営管理集積計画策定のための不明森林所有者の検索を行った。	経営管理集積計画に基づき、森林整備を進める。	
計画策定以降の新規取組み					1-1-12	（該当があれば記入）		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 （取組みの内容、進捗、成果、課題等）	令和5年度実施結果 （取組みの内容、進捗、成果、課題等）	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
2 ま ち の 賑 わ い と 活 力 を 生 み 出 す 拠 点 づ く り	みなみいせまつりの開催	ふれあい・交流・賑わいの場の創出やまちの産業の活性化につながるまつりを開催します。	112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	1-2-1	令和5年4月1日みなみいせまつり補助金交付要綱制定 同年7月13日交付申請に伴い、みなみいせまつり実行委員会に対して補助金交付決定 交付決定額10,000,0000円	みなみいせまつり実行委員会に補助金交付 みなみいせまつり開催（10月14日） 来場者13,000人 町民向けのまつりという傾向が強く 観光客は来場しにくい祭りであった。	海づくり大会のプレイベントと同時開催 するため補助金を水産農林課に移管
	その他の取り組み	登山道の整備	112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	1-2-2	登山道整備については、令和4年度に馬山、京路山、八祢宜山の整備を実施した。	令和4年度に整備した登山道の登山マップを作成、観光協会等で配布している。	馬山の登山キャンペーンを観光協会にて行ったところ多くの登山客が来町した。 令和6年度は龍仙山の整備を予定。
		国道260号線沿いの観光トイレの改修等の観光利便性向上の取り組み	112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	1-2-3	町民文化会館横トイレと伊勢路バス停トイレを取壊し、町文横と穂原小学校跡地に建て替える方向で設計業務を発注し契約済み。現在設計事務所と打合せ段階 観光トイレの整備計画を改定した。	両トイレとも取壊し、建替え終了。	改定した観光トイレの整備計画のもと事業を実施して行く 観光トイレと公衆トイレの違いを明確化
		農林水産物等の直販施設整備の検討	113活気ある水産業の実現	水産農林課	1-2-4	南勢・南島両地区での建設場所の庁内検討を実施。南勢地区では五ヶ所浦でという方針が決まったので、サウンディング型市場調査を実施	運営の在り方、建設方法の手順等についての仕組みの検討協議を行った。	今後、運営の在り方、建設方法の手順等について、サウンディング型市場調査など民間の意見を参考に仕組みを検討し実施していく。
			114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-2-5			
計画策定以降の新規取組み					1-2-6	（該当があれば記入）		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
3 働 き が い が も て る 社 会	多様な人材の雇用 機会の均等		413多様な人材 の活躍	環境生活課	1-3-1	男女共同参画映画祭を実施し、共同参画につい ての考え方の啓発を行った。 地域の各種団体の意思決定の場への女性参画を 推進し、町審議会等の女性委員の登用割合は 31.9%になった（令和5年現状値）。 人権講演会を実施した。 人権擁護委員により、6月の人権擁護委員の 日、12月の人権週間に合わせ、年2回、特設人 権相談を開設した。また、町内2保育園にて個 性についての理解推進のため人権講演会を実施 した。	男女共同参画映画祭では共同参画について啓発 し、来場者は160名だった。 人権講演会はLGBT関連での講演で、来場者は 100名、特に高齢者の方への意識付に繋がっ た。人権擁護委員と連携し特設人権相談の開設 や、保育園にて個性についての理解推進のため の人権教室を実施、人権意識を向上させた。	男女共同参画センター等関連団体と連携 し、映画祭等のイベントや講演会を開催 するなど、引き続き男女共同参画の推進 を行う。 人権問題に関する正しい理解、認識を得 られるための啓発活動や情報提供を今後 も継続して進めていく。
	障がい者の生活環 境づくり	障がい福祉サービス事業所の移転等を支援しま す。	416障がい者の 生活環境づくり	子育て・福祉 課	1-3-2	令和5年度進捗状況 支援センターかもめの実施設計契約済 かえで作業所の旧穂原園の改修事業への補助金 交付決定済	令和5年度進捗状況 支援センターかもめの実施設計完成 建築工事契約済み かえで作業所の旧穂原園の改修事業への補助金 交付決定済	支援センターかもめ：建築工事契約済 （令和6年8月末に完成予定） かえで作業所：補助金交付、現作業所の 財産処分、引越し作業
	おしごとアドバイ ザー等による若者 定住支援		312若者定住・ 移住対策の推進	まちづくり推 進課	1-3-3	移住定住コーディネーター（おしごとアドバイ ザー）のもとFacebook上に南伊勢町のお仕事情 報掲示板である『おしごとバンク』を開設し た。正社員の募集や子育てママさんたちが保育 園に預けている時間帯に働ける求人など、多様 な求人掲載を実現した。 事業者募集数：18社 採用数：13人	移住定住コーディネーター（おしごとアドバイ ザー）のもとFacebook上に南伊勢町のお仕事情 報掲示板である『おしごとバンク』を運営して います。正社員の募集や子育てママさんたちが 保育園に預けている時間帯に働ける求人など、 多様な求人掲載を実現し採用にも繋がってい る。 事業者募集数：35社 採用数：16人	Facebookの取り扱い等が困難な事業者さ んなどはサポートをしていきながら、募 集事業者さんを増やしていきさまざまな ニーズにあった仕事を選べるようにす る。
	計画策定以降の新 規取組み				1-3-4	（該当があれば記入）		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
4 新 た な 産 業 を 生 み 出 す	地域資源を活かした観光商品の開発		112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	1-4-1	南部地域活性化基金事業を活用し、町内の滝を観光資源として掘り起こし、新たな観光商品となるよう町内の滝の資源化の事業を令和5年度に県事業として実施。	県事業を活用し実施	町内の滝の資源化を目指し、活用方法について検討する。
	地域特性に即した企業誘致		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	1-4-2	創業支援補助金制度を設立創業計画を認定し必要経費の1/2 1,000,000円を上限に補助を実施。認定事業数1計画 特産品開発支援補助金 補助予定1商品	1 事業を認定 1 商品を認定	創業支援・特産品開発支援ともに支援していく（R6）
	カーボンニュートラル実現に向けた産業政策の推進		113活気ある水産業の実現	水産農林課	1-4-3	水産多面的協議会（5地区）による各漁場の藻場再生へ向けた食害生物の駆除や母藻の設置等を支援。	水産多面的協議会（7地区）による各漁場の藻場再生へ向けた食害生物の駆除や母藻の設置等を支援。	国や県に補助金の拡充を要望し、町単独補助である漁場環境整備補助金の中身を精査していく。
			114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-4-4	計画的な森林整備を進めるため、経営管理集積計画を進めた。	森林整備のため、経営管理集積計画を進めた。	森林譲与税等を活かし、森林整備を進める。
			513自然環境の保全と脱炭素・循環型社会の形成	環境生活課	1-4-5	鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターへの加入に伴い、可燃ごみを、サーマルリサイクル(焼却時の廃熱利用によりタービンを回し発電するエネルギー回収方式のリサイクル)の原料として活用。 しかしながら、鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターまでの運搬距離延長に伴い、塵芥収集車(パッカー車)の燃料使用量が増加しており、今後、低燃費車への更新等、脱炭素の分野において検討が求められる。	4月から鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターでの可燃ごみの処理の為、3048.5 t /年の搬入を行った。搬入した可燃ごみはサーマルリサイクルの原料として活用された。 また、鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターまでの運搬距離延長に伴う塵芥収集車（パッカー車）の燃料費等の経費増加については、収集車両の連携や収集ルートの変更などにより搬入台数を減らし、燃料費等の経費削減に努めた。	脱炭素、温暖化防止対策の推進事業として町内街路灯のLED化、電気自動車用急速充電設備を維持し、3 R +等の取組による廃棄物の資源循環を継続して進めるなどこれまでの取組を継続していく。また、鳥羽志勢広域連合及び構成自治体と協力し、今後の対策を検討するため、循環型社会形成推進地域計画の広域版計画の策定に関して関係者等と協議を進めていく。
	計画策定以降の新規取組み				1-4-6	(該当があれば記入)		

プロジェクト名

2. 安全安心のまちプロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
1 生活の安全・安心対策の推進	新型コロナウイルス感染症流行の影響や国際情勢の変化等による物価高騰などの影響を受ける生活者や事業者への支援		111,113,114,313,415,416他	まちづくり推進課	2-1-1	※新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金評価シート参照	国の交付金を活用し、低所得世帯向けの給付金、プレミアム商品券、子育て応援交付金、小中学校給食費の無償化、水道料金の減免を行い物価高騰などの影響を受ける生活者や事業者へ支援を行うことができた。 ※詳細交付金評価シート参照 https://www.town.minamiise.lg.jp/admin/shoshiki/singatakorona/sienseido/4634.html	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金をもとにした調整給付などが継続していることから引き続き支援策を継続する。 また、国の新たな経済対策が示された場合は迅速に予算化し早急な生活支援に努める。 ※詳細交付金評価シート参照
		新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金事業以外の取組み				(該当があれば記入)		
	その他の取組み	防犯意識の高揚と防犯ネットワークの構築、消費生活に関する啓発と相談の充実	214交通と生活の安全安心対策	防災安全課	2-1-2	交通安全パトロールや啓発運動を実施。	防災イベントでの啓発活動を実施。	近隣市町と情報共有し、連携を密に防犯や交通安全対策を働きかける。また青色回転灯装着車による町内パトロール実施する。
	計画策定以降の新規取組み				2-1-3	(該当があれば記入)		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
2 生命の保護、まちの重要な機能	南海トラフ巨大地震への対応		211災害に強いまちの確立	防災安全課	2-2-1	一次避難場所及び避難道の修繕・整備の実施。	一次避難場所及び避難道の修繕・整備の実施。	地理的条件により避難に時間がかかる地域への津波避難タワー等の整備を行う。 また、避難所運営のについても応援体制の整備を推進していく。
		避難所、避難場所等の施設の整備や保育所、障がい者施設等の高台移転、関係機関との連携強化や応援体制の整備を促進します。	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	2-2-2	なかよし園の高台移転に向け移転場所の候補地を決めるための協議を行なった。	なかよし園移転先の決定に伴い、地質調査及び基本設計を行なった。 また、実施設計を進め令和6年4月末完成	なかよし園移転先の決定に伴い、教育委員会と協議を行い、基本設計及び実施設計を行う。
			416障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課	2-2-3	令和5年度進捗状況 支援センターかもめの実施設計契約済 かえで作業所の旧穂原園の改修事業への補助金交付決定済	令和5年度進捗状況 支援センターかもめの実施設計完成 建築工事契約済み かえで作業所の旧穂原園の改修事業への補助金交付決定済	支援センターかもめ：建築工事契約済(8月末に完成予定) かえで作業所：補助金交付、現作業所の財産処分、引越し作業
			デジタル技術を活用した情報収集や住民への情報提供等、効果的・効率的な防災対策に取り組めます。	防災安全課	2-2-4	防犯カメラを設置した。潮位カメラの設置を行う。	昨年に引き続き、新たな3箇所に防犯カメラの設置を行った。	設置個所を検討し、計画的に増設していく。

能力維持、被害の最小化	その他の取組み	配水池及び浄水場の災害対策も含めた施設更新個所の検討及び決定	213水道の安定供給	上下水道課	2-2-5	配水池及び浄水場の水道施設更新の検討及び決定をし計画的に実施した。	配水池及び浄水場の水道施設更新の計画に従い実施をした。	地方公営企業として適正な水道料金の維持と健全な経営に努め、計画的に配水池及び浄水場の水道施設更新の検討及び決定を実施していく。
		国道260号道路改良に伴う上下水道管布設替工事の実施	213水道の安定供給	上下水道課	2-2-6	国道260号道路改良に伴い、各年度毎に対象となる箇所の上水道管布設替工事を実施しています。	国道260号道路改良に伴い、各年度毎に対象となる箇所の上水道管布設替工事を実施しています。	国道260号道路改良の進捗に応じ、各年度毎に対象となる箇所の上水道管布設替工事を実施していく。
	計画策定以降の新規取組み				2-2-7	(該当があれば記入)		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
	生活道路の整備	安全安心に生活できるよう道路改良、橋りょうの耐震化長寿命化など生活道路をはじめとしたインフラ整備を推進していきます。	222道路基盤の整備	建設課	2-3-1	各施設の点検を実施し、個別施設計画、長寿命化計画を策定。修繕工事の実施。	各施設の点検を実施。個別施設計画、長寿命化計画に基づき、修繕工事を実施。	継続して点検、修繕計画の見直しを適宜実施する。
	町内公共交通機関の利便性の向上	巡回バスモデル事業など、地域の実情に応じた交通手段の確保やバス利用環境の整備・改善に取り組めます。	223交通手段の充実	環境生活課	2-3-2	「コメリ・ぎゅーとら」バス停を設置し、町営バス、デマンドバス、病院ループバス等を統括し乗入れを実現し、商業施設乗入れと地域住民の交流の場として新たな乗継拠点となった。南島西巡回バスモデル事業を実施。伊勢地、河内を結ぶ路線（Cルート）が好評で、検証結果を踏まえ、路線新設とダイヤ再編を検討協議。令和5年10月南島地区及び地域間幹線系統（三交：南島線）の大幅なダイヤ改正を行う。町内各バス待合所の新設やベンチ設置等環境整備を実施。バスの乗り方説明や地域懇談会や説明会を実施。時刻表や路線図の配布とともに、町営バスについて検索できる乗換えアプリは7社となり利用促進にも取り組んだ。	南島地区では、南島西巡回バスモデル事業を継続し、その検証結果や地域意見、地域公共交通会議での協議を踏まえ、令和5年10月大幅な町営バス、三交南島線のダイヤ改正と吉津線新設を実施。お買い物支援、高校通学対策、南島南勢間の強化に寄与し、乗降数調査での利用者は増加した。南勢地区では、切原中津浜実証モデル事業を実施。令和6年度も実証運行は継続する。全体的な利用は多くないが、一部必要と思われるダイヤがあり、今後これらを検証し、新たな移動手段も含め交通体系の見直しを行う。引き続き、ベンチ設置など環境整備に努めた。	南勢地区で高齢者の日常おでかけと、高校生通学活動について移動手段確保について実証実験と調査を行い、路線再編に着手する。町全体の交通調査も併せて行い、分析し、交通体系の再構築に取り組む。利用が減少している地域間幹線バス（三交：五ヶ所線、宿浦線）について、対策を関係機関、県、関係市町と検討する。高齢者、子ども向けバスの乗り方教室などを開催し、住民意見、動向を把握し、利用促進に取り組む。

3 生 活 基 盤 の 整 備 に よ る 地 域 と 経 済 の 活 性	若者定住団地の整備	若者が安心して暮らせる高台の住宅用地を提供します。	221住環境の整備	管財契約課	2-3-3	2018年～2022年、高台住宅用地整備7件中4件売却を確約した。	槌柄浦の高台住宅用地を用途変更を行い支援センターかもめの建設をする。	船越高台住宅の利用地を整備し、売却等に努める。
	公園の充実	「憩い」・「遊び」・「体力づくり」の場として、いつでも気軽に利用できる魅力ある公園にしています。	221住環境の整備	管財契約課	2-3-4	神前浦に新たに公園を建設中。また、令和5年度中にふるさと公園と五ヶ所公園の遊具改修の実施に向け対応中。	・ふるさと公園、五ヶ所公園に新たに遊具が設置され、吉津地区には新規に公園が建設されました。 また、遊具には、子供が遊び、ベンチや健康器具に老人が運動しています。	公園施設の点検、更新修繕や活用状況に応じて、整備方法を更新する。
	自主運行バスの運賃適正化	自主運行バスの運賃適正化	223交通手段の充実	環境生活課	2-3-5	町営バス、デマンドバスの運賃や、乗継ぎ時の割引について協議を重ねたが、ダイヤ再編中であり、抜本的な見直しができなかった。 新設路線やダイヤ改正時の運賃設定は順次実施している。	町営バス、デマンドバスの運賃や、乗継ぎ時の割引について引き続き協議を重ねたが、ダイヤ再編中であり、抜本的な見直しができなかった。その中で、高齢者バス利用券のみ、町営バス・デマンドバス共通券を設定し、利便を図る事ができた。 新設路線やダイヤ改正時の運賃設定は順次実施している。	引き続き、運賃の適正化、運賃がわかり難い距離制からゾーン制への転換などを協議し、運賃の見直しに取り組む。
水洗化補助金の新設		224生活排水対策の推進（持続可能な生活排水対策）	上下水道課	2-3-6	令和4年度実績 下水道13件、浄化槽4件 水洗化率の向上につながった。	令和5年度実績 下水道6件、浄化槽3件 水洗化率の向上につながった。	水洗化補助金の交付については、令和6年度が最終年度となっているため、今後の継続について検討する。	
浄化槽長寿命化計画の策定		224生活排水対策の推進（持続可能な生活排水対策）	上下水道課	2-3-7	浄化槽事業における資産の洗い出しや、維持管理計画などの策定を行っています。（令和5年9月完成予定）・	維持管理計画の策定が完了した。	策定した計画を基に、国の補助金等を活用しながら、浄化槽の適正な維持管理を行っていく。	
共同浄化槽の設置促進		224生活排水対策の推進（持続可能な生活排水対策）	上下水道課	2-3-8	日本全国でも実施事例が無く、設置条例を定めている自治体に情報収集を行ったが、参考となるような情報は得られていない状況。そのため事業の実施については、設置に対する問題点を洗い出し、慎重に検討する必要がある。	県内の自治体にアンケート調査を実施し、共同浄化槽設置についての意見徴収を行った。	今後も継続して情報収集を行い、全国でも事例が無い理由等についても、十分考慮しながら、事業実施について検討していく。	

仕 化 や 平 時 か ら の 災 害 へ の 備 え	その他の取組み	新たなごみ処理体制の構築	225生活環境の 保全と環境美化	環境生活課	2-3-9	●公衆衛生の向上 町のクリーン作戦、町内のボランティア団体による清掃活動などを通じ町内の公衆衛生の向上に努めた。 町内ボランティア団体の清掃活動によるごみは処理手数料を免除する等、ボランティア清掃に参加しやすい環境づくりに努めた。 ●ごみ処理体制の充実 令和５年４月より一般廃棄物の処理は、鳥羽志勢広域連合やまだエコセンター(志摩市磯部町山田)にて広域処理することとなり、ごみ処理体制が確立され、サーマルリサイクルが進められた。 また、令和５年４月、広域処理に併せ南伊勢町一般廃棄物処理基本計画も一般廃棄物減量化推進委員の皆さんの協力のもと、新たな１５年計画として作成した。 ●特定空家の適正な管理の促進 南伊勢町空家等対策協議会を開催し、新たに４件の空家が特定空家等として認定された。所有者等に指導・勧告を行い、５件の補助金交付、１件の略式代執行を実施し、計７件の特定空家等が除却された。 ●不法投棄防止対策の強化 不法投棄防止対策の見せる化、不法投棄防止看板の設置及び不法投棄防止監視カメラの設置等の発生抑制に努めた。 また、不法投棄事案を確知した際は、警察署と協力し、地権者立ち会いのもと、廃棄物処理法に基づく対応を進めた。 ●し尿処理体系の充実 し尿・浄化槽汚泥等の生活排水汚泥の処理については、町内２業者により収集され、町営きはらコンポストセンター、鳥羽志勢広域連合鳥羽志勢クリーンセンター(鳥羽市白木町)にて汚泥再生処理を実施。熱分解し、肥料化され、農地還元リサイクルとして実施した。	●公衆衛生の向上 町のクリーン作戦３回の実施と町内の１８団体によるボランティア清掃活動などを通じ、町内の公衆衛生が図られた。 町内ボランティア団体の清掃活動によるごみは処理手数料を免除する等、ボランティア清掃に参加しやすい環境づくりに努めた。 ●ごみ処理体制の充実 ４月より、鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターにて一般廃棄物の広域処理を行っており、南伊勢町分の可燃ごみ３０４８.５ｔのサーマルリサイクルが行われた。また、資源ごみ４３７.７ｔの処理が行われたとともにリユース品の活用促進を図るための協議を進めた。 ●特定空家等の適正な管理の促進 南伊勢町空家等対策協議会を開催し、新たに５件の空家が特定空家等として認定された。所有者等に指導・勧告を行い、３件の補助金交付を実施し、計５件の特定空家等が除却された。 ●不法投棄防止対策の強化 不法投棄防止対策として見せる化による不法投棄の発生抑制のため、新たに不法投棄防止看板及び不法投棄防止監視カメラの設置を行った。(設置５台、貸出４台) また、不法投棄事案を確知した際は、警察署と協力し、地権者立ち会いのもと、廃棄物処理法に基づく対応を進めた。 ●し尿処理体系の充実 し尿・浄化槽汚泥等の生活排水汚泥の処理については、町内２業者により収集・運搬が行われ、鳥羽志勢広域連合鳥羽志勢クリーンセンター(鳥羽市白木町)にて、し尿・浄化槽汚泥５,５７２.７２ｋℓの汚泥再生処理により熱分解、肥料化が行われた。また、町営きはらコンポストセンターでは、生ごみ及びし尿・下水汚泥２３０,４７２ｋｇの再生処理により肥料化が行われ、農地等還元リサイクルとして希望する住民に配布した。	●公衆衛生の向上 引き続き町のクリーン作戦、町内ボランティア団体によるボランティア清掃の支援を継続していく。 ●ごみ処理体制の充実 南伊勢町一般廃棄物処理基本計画(関連個別計画)に記載されたチャイルドシートや子供服、継続利用可能な家具類のリユース対策を進めるとともに、鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターまでの運搬に関し、効率化を図った。 ●特定空家等の適正な管理の促進 これまでの取組を継続し、特定空家等の認定および解消を進めていく。 また、そのまま放置すれば特定空家等になるおそれのある空家を「管理不全な状態の空家等」として認定し、特定空家化の未然防止に努めていく。 ●不法投棄防止対策の強化 これまでの取組を継続し、発生抑制および不法投棄事案への対応に努める。 ●し尿処理体系の充実 これまでの取組を継続し、安定的な処理体系を維持出来るよう努める。 また、汚泥再生処理により生産された肥料の利用拡大推進のため、広報等によりＰＲを進める。

	計画策定以降の新規取組み				2 -3-10	(該当があれば記入)		
--	--------------	--	--	--	---------	------------	--	--

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
な る 激 脅 甚 威 化 す る の 対 災 害 、 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 な ど 新 た	激甚化する自然災害への対応	地震、津波、台風、大雨などの自然災害からまちを守るため、土石流、洪水対策を推進し、危険個所を解消していきます。	211災害に強いまちの確立	防災安全課	2 -4-1	災害時に備え、土のうづくりを行った。	3 地区では、自衛隊、消防団の協力で災害時に備え土のうづくりをおこなった。	地域や消防団と連携し、訓練や災害への備えを行う。
			212治山・治水・海岸の保全	建設課	2 -4-2	急傾斜、河川整備などのハード対策と、危険区域指定、水位標の設置などのソフト対策を実施中。	急傾斜、河川整備などのハード対策と、危険区域指定、水位標の設置などのソフト対策を実施中。	危険個所等の状況を把握し、県等関係機関と調整し、より事業の推進を図る。
	新型コロナウイルス感染症対策		各施策	まちづくり推進課	2 -4-3	※新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金評価シート参照	新型コロナウイルス感染症の5類感染症に移行し、国の臨時交付金による支援についても感染症対策から、感染症拡大のもと物価高騰等の影響を受ける生活者等への支援にシフトしていることから、交付金を活用した感染症対策は実施しなかったが、過去に整備した資材、備品等に対応できた。 ※詳細交付金評価シート参照 https://www.town.minamiise.lg.jp/admin/shoshiki/singatakorona/sienseido/4634.html	また、交付金を活用し整備した備品類の平時利用を促進しながら、再度感染症が拡大した際に備えていく。 新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金が終了し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に移行していることから本事業は終了する。
		新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金事業以外の取組み			2 -4-4	(該当があれば記入)		
	計画策定以降の新規取組み				2 -4-5	(該当があれば記入)		

プロジェクト名

3. 子育て応援プロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
1 健 や か な 育 ち と 生 き る 力 を 育 む	保育の質の向上	▷保育所での運動能力向上事業を導入し、知力・体力・英語 力の向上を中心とした幼児教育を行います。 ▷保育の質の向上のため地域活性化起業人（企業人材派遣制度）等の活用に取り組みます。	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-1-1	運動能力向上事業を導入していくため、担当保育士4名がやる気スイッチグループのメゾットを学ぶための研修を受講した。 10月より町内全ての保育所で4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施 キラキラ教室（英語教室）を実施 CLMメゾットを保育に活かしていくため、保育士がアドバイザーとなるための研修を受講した。 CLMのに関する研修を全保育士対象に年3回実施	町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施 町内全ての保育所で4・5歳児を対象に週2から3回キラキラ教室（英語教室）を実施 保育の充実を目的に、CLMシステムアドバイザーを中心として指導者と共に保育士への相談や指導を実施した。 保育の質の向上を目的に、CLMに関する研修を年3回実施	町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施 キラキラ教室（英語教室）を実施 CLMメゾットを学んだアドバイザーを中心に指導者に共に保育現場のCLMへ入っていただき、進め方の指導を受けながら実施していく。 CLMのに関する研修を年3回実施
	保育・教育環境の整備・	南勢地区における統合保育所の整備やなかよし保育園の高台移転を進めます。	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-1-2	なかよし園の高台移転に向け移転場所の候補地を決めるための協議を行なった。	なかよし園移転先の決定に伴い、地質調査及び基本設計を行なった。 また、実施設計を進め令和6年4月末完成	なかよし園移転先の決定に伴い、教育委員会と協議を行い、基本設計及び実施設計を行う。
		少子化に伴う教育課題の解消及び児童生徒の安心・安全の確保の観点から、南島地区小学校の統廃合及び高台移転を進めます。	313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-1-3	令和4年度に南島地区小学校統廃合検討委員会を開催し統合に向け答申を受けた。 現在、南島地区の小学校統廃合と中学校を併設し高台に移転するために基本構想の基本計画を作成中。	南島地区の小中学校建設に向けて、【南島地区小中学校基本構想】を作成し、プロポーザル方式による基本・実施設計を発注する為に設計業者選定資料の作成を行った。また校舎建設地には給食棟があり、それを解体するために、南島中学校に給食室を改築するための設計を行った。	令和9年4月開校を目指し令和6年度中旬に基本設計・実施設計を発注し令和7年度中旬に建築工事・改修工事を進める。
	学校教育の充実、 青少年の健全育成	ふるさと教育の推進をします。	313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-1-4	南島中学校ではふるさと教育を通じて学んだ故郷に対する思いや素晴らしさを広く発信していくために修学旅行の工程に三重テラスでの「ふるさと南伊勢のPR活動」を組み込み、体験活動を通じて様々な人たちと触れ合う事で自分のキャリアプランを考える事が出来た。	ふるさと教育の集大成として南島中学校の修学旅行時に三重テラスでの「ふるさと南伊勢のPR活動」を行った。この活動も今年で2年目を迎え、最初は緊張していた生徒達も自作のポスターを使い、三重テラス内に誘導し、お客様との対話を通し南伊勢町のPRを楽しみながら行う姿が見られた。次年度は南勢中学校でも実施していきたい。	南島中学校だけではなく南勢中学校においても次年度は、ふるさと教育の集大成として三重テラスで「ふるさと南伊勢のPR活動」を行っていく。
		地域の大人や子どもが一体となって取り組めるイベントを実施します。	314地域での青少年の健全育成	教育委員会	3-1-5	・夏休み子ども工作教室(東宮資料館)12名 ・チャンバラ教室、和太鼓体験(愛洲の館)14名 ・星空観察(鶉倉園地) 19名 夏休み中のイベントが多かったので、参加者にはとても好評であった。しかし、会場が狭く、募集人数を制限する必要があった。	・お城探索（愛洲の館）28名 ・夏休み子ども工作教室(東宮資料館)24名 ・お化け屋敷（町民文化会館）199名 ・和太鼓体験(南島中学校)10名 夏休み中のイベントを多く企画したことで、親子での参加が多く参加者にも、とても好評であった。	好評であった夏休み中のイベントを主体に継続していく。開催時期や会場などを検討し、他の時期のイベントも開催していく。
	計画策定以降の新規取組み				3-1-6	(該当があれば記入)		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
2 町 ぐ る み で 子 育 て 世 代 を 全 力 で 応 援 す る	子育て世代への支援の強化	▷出産祝金の拡充、小中学校入学祝金の支給など 子育て世代への支援を強化します。	311子育て支援 の充実	子育て・福祉 課	3-2-1	次代を担う子どもの出産を祝福するとともに、子育てに伴う経済的負担の軽減を図ることを目的に出産祝金の支給を行った。 また令和4年4月1日以降に出生した子どもの申請分より、出産祝金の支給額を10万円から第1子-第2子を 20万円、第3子以降を30万円に変更した。（まちづくり推進課） 国の「出産・子育て応援交付金」の実施に併せ令和5年度から出産祝金の所管を子育て・福祉課に替え実施。	次代を担う子どもの出産を祝福するとともに、子育てに伴う経済的負担の軽減を図ることを目的に出産祝金の支給を行った。 （実績）44名 10,100,000円 第1子：19名 第2子：12名 第3子：9名 第4子：4名	子育てに伴う経済的負担の軽減を図るために今後も継続していく。
		▷特に負担の大きい乳幼児期や小中学校入学などの節目の機会や高校生の支援に特化し、下記の支援を新たに行います。 ■小中学生支援 ・給食費の無償化 ・小中学校入学祝金の支給	313学校教育の 充実と環境整備	教育委員会	3-2-2	次代を担う子供たちの健やかで生き生きとした成長を支援するとともに子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減を図るために町内児童保護者に小中学校入学祝金を支給した。 (実績) R5 72名(小学校30名、中学校42名)2,160,000円 R4 93名(小学校50名、中学校43名)2,790,000円 子育て世代の生活支援のため学校給食費の保護者負担を無くした。(全児童生徒対象)	次代を担う子供たちの健やかで生き生きとした成長を支援するとともに子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減を図るために町内児童保護者に小中学校入学祝金を支給した。 (実績) R5 72名(小学校30名、中学校42名)2,160,000円 子育て世代の生活支援のため学校給食費の無償化を行った。(全児童生徒対象)	子育て世代の生活支援として保護者の経済的負担軽減を図るために今後を継続していく。
		■高校生支援 ・町外への通学時間の短縮（20 分短縮を目標）	223交通手段の 充実	環境生活課	3-2-3	南島地区について、大方電線の延伸、ワンボックス車両の投入、路線再編を協議した結果、伊勢からの最終帰宅便の14分短縮と、南島棚橋～伊勢市駅間で最大23分の短縮が可能となり、令和5年10月ダイヤ改正より実現することとなった。	南島地区について、町営バスと三重交通バス南島線の令和5年10月ダイヤ改正で、伊勢からの最終帰宅便が14分短縮、南島棚橋～伊勢市駅間で最大23分の短縮ができた。 南勢地区では、三重交通バス五ヶ所線での宿田曽地区への帰宅を検討。令和6年4月から町営バス宿浦線の最終便を、木谷止から宿浦まで延伸できた。	南勢地区についても、主に伊勢との高校生通学活動の移動手段を検討、調査する。五ヶ所～宿田曽間の路線の確保に取り組み、登校、帰宅時間の短縮や、早朝便の検討に取り組む。
		■おむつ、ミルクなどベビー用品応援 ・ベビーベッドの無償貸与 ・マタニティー用品や赤ちゃんのおむつ、ミルクなどの子育て用品に充てられるよう出産・子育てのための助成金を拡充 ・保育所の利用環境向上（使用済み紙おむつの園内処理）	311子育て支援 の充実	子育て・福祉 課	3-2-4	子育て世帯を応援するため、南伊勢町に住民票がある15歳以下（中学生卒業まで）の子どもを養育する子育て世帯に対して児童一人あたり2万円を給付した。 保育所の利用環境向上のため、使用済み紙おむつの園内処理できるよう体制を整えた。	非課税者に対し、子育て支援のために児童1人につき2万円の給付を行なった。 申請者数45人（対象児童数81人） ひとり親等の低所得世帯で学生等（令和5年度中に19歳以上となる学生）を扶養している者に対して7万円の給付を行なった。 申請者数8人（対象児童10人）	給付金の対象者の検討をしていく。 使用済み紙おむつの園内処理を実施しており、今後も継続していく。
	子ども政策や人口減少対策における県や関係市町等と歩調を合わせた広		311子育て支援 の充実	子育て・福祉 課	3-2-5	国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や県のみえ子ども・子育て応援総合補助金を活用し令和4年7月から給食費を全額無償化した。	県のみえ子ども・子育て応援総合補助金を活用し給食費を全額無償化した。	県のみえ子ども・子育て応援総合補助金を活用した取り組みを継続していく。

	域的な連携や分野横断的な連携		312若者定住・移住対策の推進	まちづくり推進課	3-2-6	おしごとバンクの運営 南伊勢町一次産業関係人口創出事業 (尾鷲市と連携)	R6.3月現在 おしごとバンク登録者数 156件 採用決定11件	Facebookをしていない方からの登録については入力作業をして、おしごとバンクに登録を進めていく。
	計画策定以降の新規取組み				3-2-7	(該当があれば記入)		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
3 若 者 が 住 み た い と 思 え る ま ち を つ く る	【再掲】若者定住団地の整備・		221住環境の整備	管財契約課	3-3-1	2 -3-3参照	2 -3-3参照	2 -3-3参照
	【再掲】公園の充実・		221住環境の整備	管財契約課	3-3-2	2 -3-4参照	2 -3-4参照	2 -3-4参照
	スポーツができる環境づくり	幼児期からの運動習慣づくりを推進します。	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-3-3	運動能力向上事業を導入していくため、担当保育士4名がやる気スイッチグループのメゾットを学ぶための研修を受講した。 令和4年10月より町内全ての保育所で4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施	町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施	町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施できるようにしていく。
		地域における子どものスポーツ環境を充実させます	411生涯学習の充実	教育委員会	3-3-4	・ビーチボールバレー大会では、子どもたちが気軽に参加できるよう交流試合を実施し、15名の子どもたちの参加があった。 ・スケートボードパークの整備支援を行った。	・ビーチボールバレー大会では、子どもたちが気軽に参加できるよう交流試合を実施し、68名の大人や子どもの参加があった。 ウォークラリーを実施し、36名の子どもから高齢者まで幅広い年代の参加があった。 幅広い年代の方々がイベントに参加していただけた。	スポーツ推進委員と協力し、幅広い年代の方が参加できるスポーツイベントを継続していく。
			221住環境の整備	管財契約課	3-3-5	2-3-3参照 法人への無償により、利用者が増加。 今後の活用方法が課題。	・ふるさと公園、五ヶ所公園に新たに遊具が設置され、吉津地区には新規に公園が建設されました。 また、遊具には、子供が遊び、ベンチや健康器具に老人が運動しています。	周辺の公有財産の活用方法との、方針を検討する必要がある。 公園利用者が、居心地よく快適に過ごしていただける場を目指す。
	若者定住・移住対策の推進・		312若者定住・移住対策の推進	まちづくり推進課	3-3-6	男女が会合う場づくりの支援として「恋活トークパーティを実施」 移住交流事業の充実として、移住定住コーディネーターによる移住支援に取り組んだ。 新たなチャレンジを生み出す環境づくりとして地域おこし協力隊の募集を行った。 定住促進事業の充実として、空き家バンクの登録促進や空き家有効活用、新築支援に取り組んだ。	男女が会合う場づくりの支援として「恋活トークパーティを実施」 移住交流事業の充実として、伊勢志摩地域の担当者と一緒に移住フェアに「伊勢地地域」として一緒に取り組みました。 新たなチャレンジを生み出す環境づくりとして地域おこし協力隊の募集を行った。 定住促進事業の充実として、空き家バンクの登録促進や空き家有効活用、新築支援に取り組んだ。	男女が会合う場づくりは女性に人気のある「いちご狩り」をお友達と参加できるように女性参加者を増やしていく。 引き続き、伊勢志摩エリアの担当者と定期的に会議を行い情報交換をしていく。 定住促進事業の充実として、空き家バンクの登録促進や空き家有効活用、新築支援に取り組んでいく。
					3-3-7	(該当があれば記入)		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
4 次 世 代 を 担 う 人 材 の 育 成	学校情報教育の推進・		313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-4-1	令和2年度より児童生徒一人一台の学習者用端末の導入、令和5年度より各学校に電子黒板の整備を行う等学習ツールの一つとして限られた学習時間を効率的に運用し、主体的・対話的で深い学びの実現にむけてICTを積極的に活用した。	児童生徒一人一台の学習者用端末の導入は既に完了し、令和5年度では各小学校に電子黒板の整備を行った。また各中学校の体育館、武道館にネットワークの延伸を行いICTを積極的に活用できる環境づくりを進めた。	次年度以降各中学校にも電子黒板の整備を整備します。また児童生徒一人一台端末の更新を令和8年度に迎える事から国庫補助に係る状況を注視していきます。
	【再掲】ふるさと教育の推進		313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-4-2	3-1-4参照	3-1-4参照	3-1-4参照
	【再掲】稼げる水産業・担い手づくりスタートアップ事業		113活気ある水産業の実現	水産農林課	3-4-3	1-1-1参照	1-1-1参照	1-1-1参照
	その他の取り組み	コミュニティ・スクールの充実	313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-4-4	令和4年度で全校学校運営協議会（コミュニティスクール）の設置を完了し、令和5年8月に第1回南伊勢町立学校運営連絡協議会を開催し各学校の取組状況について情報交換を行った。	全校学校運営協議会の設置は完了しており、令和5年度には第1回南伊勢町立学校運営連絡協議会を開催した。毎年1回以上の開催をし、各学校での取組状況等を報告し様々な教育課題について教員だけではなく保護者や地域の方々と共に知恵を出し合いながら地域ぐるみの学校運営を行います。	地域住民等の学校運営への参画等を進め、学校と地域住民等との双方向の信頼関係を深め相互に教育力を高めていくよう引き続き協議していく。
		【再掲】農林水産業スタートアップ支援の実施	113活気ある水産業の実現 114魅力ある農林業の実現	水産農林課	3-4-5	1-1-9、1-1-10参照	1-1-9、1-1-10参照	1-1-9、1-1-10参照
	計画策定以降の新規取組み				3-4-6	(該当があれば記入)		

プロジェクト名

4. 誰もが元気なまちプロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
1 高 齢 者 が 元 気 で 輝 く 心 身 の 豊 か さ の 実 現	高齢者の保健事業と介護予防の一体化	高齢者の保健事業と介護予防の一体化により、高齢者の健康維持・フレイル予防に取り組めます。	226社会保障の健全な運営	税務住民課	4-1-1	後期高齢者に対するハイリスクアプローチとして、①栄養パトロール事業、②糖尿病性腎症重症化予防事業を実施。また、ポピュレーションアプローチとしては、地域支援事業と連携し、高齢者の通いの場等において、保健師・管理栄養士が参加者に対して、フレイル予防・高血圧・栄養改善等の健康教育等を実施。	一体的実施事業に取り組む専門職として、企画・調整を担当する医療専門職を兼任で保健師1名、地域を担当する医療専門職を兼任で管理栄養士2名を配置した。 後期高齢者に対するハイリスクアプローチとして、栄養パトロール事業（低栄養状態にある方への個別保健指導）を実施した。また、ポピュレーションアプローチとして、地域支援事業と連携した高齢者の通いの場等において、フレイル状態の把握、フレイル予防・減塩に関する健康教育等を実施した。 また、本事業に関わる、税務住民課、高齢者支援課とは庁内連携会議等において随時連携を取りながら事業を実施した。	令和6年度は、ハイリスクアプローチとして、糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。また、ポピュレーションアプローチとして、フレイル状態のフレイル予防に加え、オーラルフレイルについても健康教育を実施していく予定。
			415高齢者福祉の充実と地域包括ケアの推進	高齢者支援課	4-1-2	元気シニア健康教室（428回／9会場） えるがぁ教室（116回／13地区） さんさん教室（95回／4地区） げんき測定会（31地区） 地域サロン（270回／34会場） 課題は参加者拡大	元気シニア健康教室（428回／9会場） えるがぁ教室（122回／13地区） さんさん教室（91回／4地区） げんき測定会（33地区） 地域サロン（651回／33会場） 課題：各事業の参加地区等および参加者の拡大	各事業の継続および参加地区等の拡大を促す取り組みを行い、高齢者の集いの場を広げる。
	健康づくり、介護予防の更なる強化	高齢者の方が長く元気に暮らすことができるよう、健康づくり、介護予防の更なる強化に取り組めます。	421健康づくりの推進	子育て・福祉課	4-1-3	はつらつ健脚運動、えるがぁ教室、さんさん教室、はつらつ食生活教室等の介護予防事業を地域、関係機関及び元気づくりマネージャー等と協力しながら実施。 また、各地域で開催している住民主体によるサロン事業等への支援を行った。 参加者が徐々にではあるが減少する傾向にあり、新たな参加者の周知や、継続的に実施していくための人材の確保が課題となっている。	元気シニア健康教室（428回／9会場） えるがぁ教室（122回／13地区） さんさん教室（91回／4地区） げんき測定会（33地区） 地域サロン（651回／33会場） はつらつ健脚運動（10地区） はつらつ食生活教室（202名／10地区） 課題：参加者の高齢化に伴う参加者数の減少 各事業の参加地区等および参加者の拡大	引き続き、地域、関係機関及び元気づくりマネージャー等と随時協議・協力を行いながら、実施していく。
	交流の場の創出	高齢者のみならず、多くの町民の方が一緒になって交流できるような憩いの場などを増やします。	421健康づくりの推進	子育て・福祉課	4-1-4	元気なうちからの介護予防や生きがいづくりの活動及び多くの方が交流できる場の拠点づくりに支援を行った。 また、老人クラブ等への活動支援も行った。	えるがぁ教室、地域サロン等は上記のとおり 町主催の高齢者スポーツ大会の開催 グラウンドゴルフ大会2回 ゲートボール大会2回 フリーピンポン大会2回（だれでも参加可）	引き続き、地域、関係機関等と随時協議・協力を行いながら、実施していく。
	計画策定以降の新規取組み				4-1-5	（該当があれば記入）		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
2 笑 顔 あ ふ れ る 生 涯 現 役 ・ 生 涯 活 躍	【再掲】地域の大人や子どもが一体となって取り組めるイベントの実施・		314地域での青少年の健全育成	教育委員会	4-2-1	3-1-5参照	3-1-5参照	3-1-5参照
	公演、演奏会等の誘致など、すべての世代が気軽に優れた芸術・文化に親しむことができる鑑賞機会の充実		411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-2	コロナ禍で中止となっていた文化祭を再び開催することができた。（入場者９９８名）	文化祭を開催することができた。 (入場者６５７名) 南勢会場と南島会場で分けて作品展示を行うことで南伊勢町文化協会員などの作品をより多くの町民の方々に観ていただけた。	今後も、南伊勢町文化協会として、南勢支部・南島支部で展示会場などを検討しながら継続していく。
	その他の取り組み	生涯学習の推進	411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-3	生涯学習講座において、新規で２講座の増となった。高齢化が進んでいるため、登録者数は減少している。	生涯学習講座において、町が助成する講座数は減ってきている。しかし、これまでの取組によって自主サークルへの移行が進めることができている。	高齢者だけでなく勤労者も参加しやすい生涯学習講座の実施を検討し、講座の充実を図っていく。
		歴史に関する学習の推進	411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-4	ふるさと教育で、資料館を活用した。 古文書を読む会や企画展を通じ歴史にふれる機会を作った。愛洲の館友の会などと協力し歴史に親しむ機会をつくった。	小学生の授業の一環である「ふるさと教育」で、東宮資料保存館及び愛洲の館を活用した。 古文書を読む会や企画展を通じ歴史にふれる機会をつくった。 愛洲の館友の会などと協力し歴史に親しむ機会をつくった。 子どもから高齢者が歴史にふれあえる機会をつくることができた。	これまで通り、子どもから高齢者までが歴史にふれる機会をつくり、今後も継続していく。
		文化財を大切にしようとする次世代の担い手の育成	411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-5	ふるさと教育で、資料館を活用した。 みなみいせ図書室等の協力のもと資料館での読み聞かせを行い、来館する親子に歴史にふれる機会をつくった。	小学生の授業の一環である「ふるさと教育」で、東宮資料保存館及び愛洲の館を活用した。 みなみいせ図書室等の協力のもと、愛洲の館と東宮資料保存館での読み聞かせを行うことで、来館した親子に歴史にもふれる機会をつくることができた。	今後も、ふるさと教育とともに、東宮資料保存館及び愛洲の館でのイベントなどを企画し文化財に触れる機会をつくり継続していく。
	計画策定以降の新規取組み				4-2-6	(該当があれば記入)		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
3 多 世 代 あ い に よ る 支 え	【再掲】交流の場の創		314地域での青少年の健全育成	教育委員会	4-3-1	4-1-4参照	4-1-4参照	4-1-4参照
	【再掲】地域の大人や子どもが一体となって取り組めるイベントの実施		314地域での青少年の健全育成	教育委員会	4-3-2	3-1-5参照	3-1-5参照	3-1-5参照
	計画策定以降の新規取組み				4-3-3	(該当があれば記入)	(該当があれば記入)	

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
4 「生活を支える医療・福祉」の充実	福祉介護人材の確保、介護職員等の離職防止、定着促進	▷更なる福祉介護人材の確保のため、高齢者や介護未経験者、外国人を含む多様な人材の参入を促進します。 ▷業務の効率化や介護職員等の負担軽減などによる離職防止や定着促進に取り組みます。 ▷南伊勢町福祉・介護サービス事業所等の介護職員等新規雇用や事業所運営に対する支援に取り組みます。	415高齢者福祉の充実と地域包括ケアの推進	高齢者支援課	4-4-1	介護職員初任者研修の無料受講（参加者3名） 外国人の介護職員（現在6名） 南伊勢町介護施設職員就職奨励金（新規7名） 介護事業所等職員新規雇用補助金（新規7名） 課題：初任者研修の周知を強化し、参加者を増加させる	介護職員初任者研修の無料受講（受講者9名） 外国人の介護職員（現在6名） 南伊勢町介護施設職員就職奨励金（新規5名） 介護事業所等職員新規雇用補助金（新規10名） 課題：介護職員として外国人を雇用するまでの流れを、行政も協力して確立していく必要がある。	初任者研修の無料受講事業や就職奨励金、新規雇用補助金を継続することにより町内事業所の就労者増加につなげる。 行政が、町内事業所の外国人雇用の相談に対応できる体制をつくる。
			416障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課	4-4-2	福祉・介護サービス事業所等の職員新規雇用補助金及び障害福祉施設職員就職奨励金を引き続き実施し、町内の介護人材の確保を図っていく。 取組をしているがヘルパー等の介護人材は不足している。	南伊勢町障害福祉施設職員就職奨励金（新規1名） 福祉介護サービス事業所等職員新規雇用補助金（新規1名）	福祉・介護サービス事業所等の職員新規雇用補助金及び障害福祉施設職員就職奨励金を引き続き実施する。
	障がい福祉サービス事業所への更なる支援	障がい福祉サービス事業所の移転等を支援します。	416障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課	4-4-3	令和5年度進捗状況 支援センターかもめの実施設計契約済 かえで作業所の旧穂原園の改修事業への補助金交付決定済	令和5年度進捗状況 支援センターかもめの実施設計完成 建築工事契約済み かえで作業所の旧穂原園の改修事業への補助金交付決定済	支援センターかもめ：建築工事契約済（8月末に完成予定） かえで作業所：補助金交付、現作業所の財産処分、引越し作業
	計画策定以降の新規取組み				4-4-4	（該当があれば記入）		

プロジェクト名

5. 輝きをもてるまちプロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
1 町内外の力を結集したまちづくり	【再掲】みなみいせまつりの開催		112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	5-1-1	1-2-1参照	1-2-1参照	1-2-1参照
	多様な連携・協力による、新たな取組みへの挑戦	各種団体、NPO、企業、高校、大学等の町内外の協力者と連携し町民の希望を実現する取組みに挑戦します。	511私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	5-1-2	1.令和4年度はコロナ禍により町内外の人が集まる取組みが開催しにくい状況であった。 2.様々な連携・協力として、町民団体が取り組む廃校活用の取組み（穂原小学校、宿田曾小学校）に対し町も支援もしており、町民主体の新たな取組み（スケートボードパーク・廃校キャンプなど）が出来た。 3.南島中学校3年生が東京にある三重県のアンテナショップの三重テラスにおいて情報発信を行った。 4. 町外の大学生と中学生が交流する授業（キャリアフォーラム）を実施 5. 町外大学生による政策提案を実施（公共政策フォーラム） 6. 個別でのまちづくりの取組みは様々なものが取り組まれているが、役場と各協力者との連携や取組みの実現への役場からの働きかけは職員間や部署間でも得意・不得意があることが課題となっている。	1.令和4年度に水産業を支える「チームTRITON南伊勢」が官民で結成され、令和6年1月の知事との円卓対話にて取り組みを紹介。漁業者、外湾漁協、フィッシャーマンジャパン、町、移住定住コーディネーター、漁業ITベンチャー等が連携し、漁師塾や地域おこし協力隊募集を実施。 水産業の未来を考える場が持たれ、町民の希望を実現する挑戦に向けた素地が作られた。 2.南島中学校3年生が東京にある三重県のアンテナショップの三重テラスにおいて情報発信を行った。 3.多様な連携・協力として、町民団体が取り組む取り組みも増えてきている。また地域に関わりたい学生や企業も増えてきているが、それぞれの求める条件や実現したい取組みとのマッチングが難しく課題である。	1. 水産業を中心とした連携に関しては水産農林課とフィッシャーマンジャパンとが連携しながら、官民各種団体が連携した取り組みが進められており、引き続き推進していく。 2. 中学生の三重テラスにおける情報発信について引き続き取り組みつつ、交流のある首都圏の大学生との修学旅行時における交流（キャンパスツアー）など町内外の多様な主体との連携に引き続き取り組む 3. 町内の各種団体での新しい動きについて、ニーズや課題を把握し、新たな挑戦を後押しできるよう支援していく。
	まちの魅力の情報発信		512まちのプロモーション	まちづくり推進課	5-1-3	Instagramでの情報発信を充実させた。 町公式SNSフォロワー数 7,381人 神前浦に100mの壁画「調和と祈り」を作成	町ホームページの情報発信を改善した 町公式SNSフォロワー数 9,098人 神前浦にて壁画の披露式を実施	情報発信を継続する
	計画策定以降の新規取組み				5-1-4	（該当があれば記入）	（該当があれば記入）	

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
2 私 た ち の 夢 や 希 望 を 実 現 す る 未 来 へ の 挑 戦	デジタル技術の活用	デジタル技術などを活用した町民の利便性向上のための実証的取り組みや基盤整備、人材の育成・確保・庁内DX、テレワークの推進などについて国の支援制度なども活用しながら取り組みます。	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	5-2-1	・電子申請システムを導入した。	庁内インターネット環境の更新した。 D X推進に関して引き続き情報収集に努めた。	業務のデジタル化を推進する。
			521効果的で信頼される自治体経営	総務課	5-2-2	・増加するweb会議に対応するため、web会議用の端末、庁内wifiを整備した。テレワークを可能にする機器や体制を整備した。	継続して整備したwifi環境を活用している。	業務のデジタル化を推進する。
	総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	(デジタル技術などを活用し、町民の利便性向上のため私たちの夢や希望を実現する未来に向けた実証的取り組みを取り入れていきます。)	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	5-2-3	1. 空飛ぶクルマや物流ドローンの実証実験誘致などに県と連携しながら取り組んだ。 2. 自動運転に関しては実証実験は止まっている。 3. デジタル実装に関しては国のデジタル田園都市国家構想交付金などもあるが他市町に比較しあまり活用できていない。 4. 未来技術の活用に関する実証実験の誘致は、その後の実装に際してその市町に即した実証がされることからイニシャルコストにおいて安価に実装ができるメリットもある一方で、実証後の活用方法やランニングコストなどの課題もあるため慎重な検討が必要となっておりあまり進んでいない。 5. 未来技術を活用した実証的な取り組みは、イニシャルコストやランニングコストをかけても、真に町民が解決を要する社会課題を見定める必要がある。また、それに見合う未来技術があるかどうか検討する必要もあり、社会課題の解決につながる未来技術が追いつかない可能性もあるため、未来への挑戦を許容する環境をどう作るかも課題である。	1.医療MAASや自動運転について、県内でも公共交通における実証実験が出てきており注視する必要があると認識しており情報収集に取り組んだ。 2. デジタル実装に関しては国のデジタル田園都市国家構想交付金などもあるが他市町に比較しあまり活用できていない。 3. 一方で水産分野における水中ドローンやIoT海洋モニタリングシステムを導入し、デジタル技術を活用した検証や実証に取り組んでいる。 4. 未来技術を活用した実証的な取り組みは、イニシャルコストやランニングコストをかけても、真に町民が解決を要する社会課題を見定める必要がある。また、それに見合う未来技術があるかどうか検討する必要もあり、社会課題の解決につながる未来技術が追いつかない可能性もあるため、未来への挑戦を許容する環境をどう作るかも課題である。	医療MAAS、公共交通における自動運転、AIデマンドバス、ライドシェアなどのデジタル実装の取り組みが進んできていることから情報収集をしながら、導入の可能性について検討をしていく。 また、他の未来技術を活用した実証的な取り組みや社会課題について外部意見を取り入れながら検討していく。
	計画策定以降の新規取組み				5-2-4	(該当があれば記入)	(該当があれば記入)	

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
輝 3 き 未 を 来 も へ て バ る ト ン 会 を づ 渡 く せ り る	総合計画の実現やまちづくりのためのアイデアをともに考える場づくり	(まちづくりのためのアイデアをともに考える場をつくることで未来へバトンを渡せる輝きをもてる社会づくりにつなげます。)	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	5-3-1	1.まちづくりのためのアイデアをともに考える場づくりとして南伊勢町総合計画審議会のもと総合計画に関する意見を計画に反映した。	1. まちづくりのためのアイデアをともに考える場づくりとして南伊勢町総合計画・総合戦略推進会議を開催 2. 町政懇談会を開催し住民の生の声を聞き対応行った。 3. 直販交流施設の整備及び南伊勢ワークスペースの利活用に関して町内外の様々なアイデアを求める場づくりとしてサウンディング市場調査を実施。 4. 町内外の様々な協力者のまちづくりのためのアイデアを政策へ反映させていく、仕組みづくり、行政側の土台作りが課題。国では地方創生SDG sプラットフォームによるマッチングの場や多自治体では企業版ふるさと納税のもと進める事業のアイデアを町内の団体から公募しているような事例も出てきており、町内外の協力者をつなぐ仕組みを検討していく必要がある。	1. 南伊勢町総合計画・総合戦略推進会議で出た意見を政策に反映していく。 2. 町政懇談会で出た意見とその対応状況について区と情報共有し、まちづくりに活用できるものは積極的に対応していく。 2. 企業版ふるさと納税を活用した地域活性化事業の提案の仕組みや地方創生SDG s プラットフォームによるマッチングの場の活用など町内外の様々な協力者をつなげ、まちづくりのためのアイデアを政策へ反映させていく仕組みを検討していく。
	脱炭素社会実現に向けた取り組み	公用車における電気自動車の導入など二酸化炭素排出削減の取り組みや新エネルギー普及促進、二酸化炭素吸収固定化の取り組みを推進します。	513自然環境の保全と脱炭素・循環型社会の形成	環境生活課	5-3-2	公用車における電気自動車の導入については、車両の更新がなかったため未実施。 二酸化炭素排出量削減の取組については、クールビズ・ウォームビズを推進した。 新エネルギーの普及促進については、環境保全条例との整合性を図りつつ、太陽光発電等の推進した。 二酸化炭素の吸収固定化については、水産農林課が実施し、JBEにて貨幣価値化が進められた。	公用車における電気自動車の導入については、環境の整備が整っていないため未実施。 二酸化炭素排出量削減の取り組みについては、各施設へクールビズ(5/1～10/31)・ウォームビズ(11/1～3/31)のチラシによる周知・推進を行った。 新エネルギーの普及促進については、環境保全条例との適合性を図りつつ、太陽光発電等の推進をした。 二酸化炭素の吸収固定化については、南伊勢町における藻場再生プロジェクト等による取り組みにより、JBEにて20.3 tのJブルークレジットが発行された。	公用車における電気自動車の導入については、車両の更新の際には車両用途を考慮して適否を確認しつつEV導入を検討する。 二酸化炭素排出削減・新エネルギーの普及促進の取り組みについては、関連計画である地球温暖化対策計画との整合性を図りつつ推進していく。 二酸化炭素の吸収固定化についてはブルー、グリーン、ブラウンなどの生態系CCSを最大限活用するために第一次産業の活性化を併せて検討する必要があるため、関係課とともに進める
	計画策定以降の新規取組み				5-3-3	(該当があれば記入)	(該当があれば記入)	

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
能力まちづくりの理念を取り入れた持続可能	S D G s の理念を取り入れた事業の実施	(S D G s の理念を、各施策に反映し、誰一人取り残さない持続可能なまちをつくれます。)	(全施策)	各課	5-4-1	各施策においてSDGsの理念を取り入れ取り組みを実施している。 別紙 調査票④参照 SDG s に関して役場内部でも内容理解は十分とはいいがたい。	各施策においてSDGsの理念を取り入れ取り組みを実施している。 別紙 調査票④参照 令和5年6月に発行した第4次南伊勢町総合計画において、各施策における関係するSDG s の目標を明記した。また総合計画の進捗状況調査でSDG s 項目の達成状況を明記するようにし、少しずつ役場内部での認識は徐々にできつつある。 ただ、各事業とSDG s との関係性のつながりを意識した事業推進といった認識は高くない。	令和6年の各課の経営方針にどの事業、取り組みにおいてSDG s に貢献するために取り組むかを明記し、各課の運営の中でSDG s を意識し取り組みを進める。
	計画策定以降の新規取組み				5-4-2	(該当があれば記入)	(該当があれば記入)	

プロジェクト名

6. 買い物不便・困難対策プロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】 令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
1 地 域 の 商 店 、 店 舗 の 維 持 ・ 充 実 対 策 の 実 施	地元商店や移動販売の経営継続のための利用促進策や支援策の充実		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-1	経営向上補助金制度を活用し支援策を実施。 令和4年度補助実績29社 7,700千円	経営向上補助金制度を活用し支援策を実施。 令和5年度補助実績9件 1,201千円	継続的に支援を実施
	他の業種との兼務や共同店舗化、地域の人が集まる仕組みづくりなど店舗の採算性確保化対策		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-2	商工事業における採算性は商工事業者が行うべきであるため、買い物困難対策として商工事業者が採算性を問わず実施させる場合、どの範囲で買い物困難対策としてどの程度の店舗が必要となるか明確でないことも検討課題となっている。	同左	商工事業者に対する施策とするのは無理がある。そのため他施策も含め買い物困難対策の視点から支援策の検討をしていく。
			511私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	6-1-3	・買い物不便・買い物困難を解消するため、全国で様々な施策が行われているが、それらに対して国の支援策では、店舗の改修や移動販売車両の購入といった初期投資や経営改善への補助が多く、一番の課題である運営費に対する国の補助は、立上げ時への一時的な支援を除きほばない。こういったことから国へふるさと振興協議会を通じ店舗運営に関するサポート体制の拡充を要望した。 ・地域の人があつまる仕組みづくりは未達成。他自治体では地域運営組織による共同店舗などの事例はあるが、当町においては、ほぼ地域運営組織がなく、地域運営組織を組織する地区では地域の商店があり優先度は地域の商店があつまる仕組みづくりは優先度は高くない。五ヶ所浦ではチャレンジショップを通じ地域の人が集まる仕組みづくりは取り組まれているが、地域の商店の採算性確保対策と趣旨が異なる。	・地域の食料品店の経営維持に関する助成制度は経営改善などの支援を除きほばないことから、運営費の支援を国県へ要望を行った。 ・地域の食料品店の経営維持のための聞き取りを行い、経営維持につながる町の支援制度の検討を行った。 ・JAショップが閉店する一方、一部店舗では事業継承者による経営継続、移動販売による店舗閉店地区へのフォローといった動きがあった。また、新規移動販売の動きもあり変化が著しくなっており、店舗支援、移動販売、交通など様々な手段を踏まえ、経営と住民サービスを維持できる支援を検討する必要が出てきている。	・初期投資や経営経営改善に関する国の助成制度を活用、経営改善に取り組む町内の食料品店に対する補助金を新設する。 ・引き続き運営費の支援に関し国県へ要望していく。 ・地域において食料品店を継続しようとする事業者が出てきており、ニーズを聞きながら事業者にあった支援制度を提案していく（買い物支援事業補助金、地域運営組織等） ・「他の業種との兼務や共同店舗化、地域の人が集まる仕組みづくり」と様々な手法は考えられるが、地域の意向や思いが優先されるため、まずは地域運営組織形成を促進することを優先し、出てきた考えに対し行政が支援や連携していく
			111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-4	道路沿いに自動販売機を設置するなど各事業において売上向上対策として実施している。それらの支援策としては検討可能。	無人決裁店舗については、ファミリーマートなどコンビニチェーンでも導入を開始している。 無人化・省人化対策について経営向上補助が該当	補助金額を増額するのであれば庁内で検討必要。

	無人決済店舗化など省人化対策の調査検討		511私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	6-1-5	無人決済店舗化に関する技術的な実現可能性について情報収集を行った。コンビニのような業態においては実用性の高いシステムが出てきている。運用面やイニシャルコストは未調査	店舗全体の無人決裁は、現時点では一部にとどまるが、近隣でも業種によっては出てきている。自動精算機に関しては、国が中小企業省力化投資補助金を創設し後押しをするようになってきている。人件費の圧縮や従業員確保対策として参考になることから、各事業者の状況に応じ提案もできるようにしていく必要がある。	無人決裁店舗は引き続き情報収取する一方、自動精算機等の省力化に関しては、町の買い物支援補助金の対象に、国の中小企業省力化投資補助金を活用するものを対象に加えるなど後押ししてく。
	配達や商店の情報、生活支援の情報を伝える仕組みの実施	(配達や商店の情報、生活支援の情報をまとめ、商品・サービスを利用しやすくします。)	111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-6	商工会にて事業を実施中	商工会にて集合広告事業として実施 事業費を町が補助1／2	コロナ禍において伊勢市が市内店舗のテイクアウト情報等を発信していた。平時において官公庁が実施すべきか検討。
	計画策定以降の新規取組み				6-1-7	(該当があれば記入)		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
2 商 店 へ の ア ク セ ス の 向 上	町内外を含めた公共交通網の更なる利便性の向上	(町営バス・デマンドバスの利便性向上はもとより、集落内での有償運送や町外へのアクセス向上など各集落の状況に応じた交通アクセス対策に取り組みます。)	223交通手段の充実	環境生活課	6-2-1	「コメリ・ぎゅーとら」バス停を設置し、町営バス、デマンドバス、病院ループバス等を統括し乗入れを実現し、商業施設乗入れと地域住民の交流の場として新たな乗継拠点となった。 南島西巡回バスモデル事業を実施。伊勢地、河内を結ぶ路線（Cルート）が好評で、検証結果を踏まえ、路線新設とダイヤ再編を検討協議。令和5年10月南島地区及び地域間幹線系統（三交：南島線）の大幅なダイヤ改正を行う。 地域間幹線系統（三交：南島線）ではイオンへの直接乗入れや、一定時間帯の度会町大野木地内への経由についても、南島道方からの運行時間の均等化を図り、利便性を向上した。 町内各バス待合所の新設やベンチ設置等環境整備を実施。 バスの乗り方説明や地域懇談会や説明会を実施。 時刻表や路線図の配布とともに、町営バスについて検索できる乗換えアプリは7社となり利用促進にも取り組んだ。	南島地区では、南島西巡回バスモデル事業を継続し、その検証結果や地域意見、地域公共交通会議での協議を踏まえ、令和5年10月大幅な町営バス、三交南島線のダイヤ改正と吉津線新設を実施。お買い物支援、高校通学対策、南島南勢間の強化に寄与し、乗降数調査での利用者は増加した。 南勢地区では、切原中津浜実証モデル事業を実施。令和6年度も実証運行は継続する。全体的な利用は多くないが、一部必要と思われるダイヤがあり、今後これらを検証し、新たな移動手段も含め交通体系の見直しを行う。 三重県等と連携し、地域間幹線バスの利用増進（特に利用の少ない五ヶ所2路線）について協議をすすめた。	南勢地区で高齢者の日常おでかけと、高校生通学活動について移動手段確保について実証実験と調査を行い、路線再編に着手する。町全体の交通調査も併せて行い、分析し、交通体系の再構築に取り組む。 利用が減少している地域間幹線バス（三交：五ヶ所線、宿浦線）について、五ヶ所線の増便の実証運行や、近鉄磯部駅乗り入れの路線変更で対策を三重県が実施予定であり、町でも対策を早急に調査、検討する。

	出張販売会（出張商店街）など地域の商店による配達 の促進・	（移動販売や地域の商店の出張販売など、地域の商店による商店空白地へ出張販売を促進します。）	111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-2-2	商工会に対して補助を実施し移動販売を過去に実施した経緯があるが、注文を受けた上でお届けする仕組みであったが、ニーズがなく事業を廃止した。		店舗にて選びたいという欲求があった為ニーズがなかったとのことであったので、移動販売を検討する上では、商品を仕入れ陳列することができる販売体制が必要であり経営体質も検討する必要がある。
	他の移動との重ね掛けによる移動の効率化の検討	（送迎バスや事業所車両の空席などを活用した他の移動との重ね掛けによる移動の可能性を検討します。）	223交通手段の充実	環境生活課	6-2-3	大方竈線は、公共交通利用のスクールの利用が好評で、南島メディカルセンターまでの延伸に取り組んだ。 南島西巡回バスモデル事業では、狭隘な集落へ小型の町営バスを運行し、南島メディカルセンターへの乗継ぎを推進した。	南島地区では、南島西巡回バスモデル事業を継続し、その検証結果や地域意見、地域公共交通会議での協議を踏まえ、令和5年10月大幅な町営バス、三交南島線のダイヤ改正と吉津線新設を実施。お買い物支援、通院需要、高校通学対策、南島南勢間の強化に寄与し、乗降数調査での利用者は増加した。その中で、大方竈線を南島メディカルセンターまで運行延長し、阿曾浦・大方竈地区からの通院が快適になった。 南勢地区では、切原中津浜実証モデル事業により、病院ループバスや小学校通学利用との利用検証を実施。	南島メディカルセンターの送迎バスや、町立南伊勢病院のループバス、スクールバスなどの無料バスと、町営バスのダイヤ調整を行い、必要な箇所への路線・運行の新設や重複した運行の精査など、全体的な経費削減、また、わかりやすいバス利用のお知らせに取り組み公共交通利用促進に努める。
	計画策定以降の新規取組み				6-2-4	（該当があれば記入）	（該当があれば記入）	

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 （取組みの内容、進捗、成果、課題等）	令和5年度実施結果 （取組みの内容、進捗、成果、課題等）	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
3 買 い 物 に	地域の既存組織を活用した配食・配達支援や送迎に関する仕組みの構築	（外出困難な人に向けて第三者が支える仕組みとして、地域の既存組織・事業者等を活用した配食・配達や送迎の仕組みを検討します。）	415高齢者福祉の充実と地域包括ケアの推進	高齢者支援課	6-3-1	1人暮らしの高齢者を対象に栄養のバランスの取れた食事を提供と安否確認を行うことを目的に取り組んできたが、配食サービスの実施してもらっていた事業者が、配達員の確保が困難なことなどの理由により、年々減ってきており、現在は町内2事業者、町外1事業者となっており、今後の事業の継続のためにも新規の事業者の確保が課題となっている。	配食サービス利+I24:J29用者（88名：南勢31、南島57） 配食サービス事業者（4事業者） 課題：配達作業の軽減策を実施し、配食サービス事業者の維持拡大を行う必要がある。	現在、南勢地区は社会福祉協議会が配達のための人員を確保して行っているが、今後の配達体制や、新規の事業者の確保について検討をする必要がある。
			514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	6-3-2	外出困難な人に向けて第三者が支える仕組みとして、地域の既存組織が送迎する仕組みは宿田曽地域で地域運営組織と中核団体が中心となり実施。行政からは地区担当職員と集落支援員の配置により支援を行った。取組みとしては進んできているが、課題としては採算性確保対策。他自治体の事例を見ても送迎や生活支援の仕組みで採算性確保は困難であり、漁村地区に関しては中山間直接支払制度を活用することが困難となっている。	・外出が困難な人に向けて第三者が支える仕組みとして、志摩市間崎島で社協の生活支援コーディネーターの支援のもと実施されている買い物支援の仕組みを視察。 ・当町においては、宿田曽地域において地域運営組織と集落支援員制度の活用による高齢者の生活支援や自家用有償運送による送迎を実施。 ・地域の既存組織や事業者等をいかに活用しながら、外出困難な人に向けての支援制度を充実していくか、町にあった仕組みを検討していく必要がある。	地域運営組織の形成支援を通じ、各地域の実情に応じた仕組みの構築に向け支援していく。 実施にあたっては、地域運営組織に関する組織運営の助成（特別交付税措置あり）や集落支援員の更なる活用、有償ボランティア制度の利用、国の補助金の活用など様々な支援制度を組み合わせる事業実施支援を進めていく。

に行けない人へのソフト対策	金融機関におけるATM 廃止対策としての電子マネーの活用推進		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-3-3	電子マネーの活用促進を促す取組として、令和4年度電子クーポンを使った地物消費推進事業を実施した。	令和5年度にふるさと応援納税の導入について検討。QRコードを用いた電子決済は、地域通貨やプレミアム付商品券事業においても実施可能。	町民に対してのプレミアム付き商品券などの事業は、電子的な活用を考慮していないので今後の事業実施については検討する。
			514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	6-3-4	令和4年度にスマホ操作教室を実施。マイナポイント取得を通じ電子マネーの取得を促進。町内における電子マネーのチャージが出来る場所が限定される（スマホアプリ、コンビニ）ことと利用者が保有する電子マネーの利用先が限定されるのが課題。	令和5年度にスマホ操作教室を実施。	スマホ操作教室について引き続き実施していく。
	商店空白地におけるインターネット通販の利用促進と操作支援の推進		511私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	6-3-5	令和5年度中に宿田曽地域活性化協議会において集落支援員の支援のもと商店空白地におけるインターネット通販の利用促進と操作支援の実証を実施予定。	宿田曽地域活性化協議会において集落支援員の支援のもと商店空白地におけるインターネット通販の利用促進と操作支援の実証を実施。 宿田曽地区の取り組みは集落で買えない商品を送料を抑えつつインターネットに詳しい地域の第三者とともに相談しながら共同購入するものであり、普段地元に住居ても買えないものを買えるという買い物の楽しさを提供するものであった。 このようなことから、他地域への普及も可能な内容ということが実証できた。	令和6年度も宿田曽地域で実証の継続を依頼するとともに、地域運営組織の形成を希望する地区に参考事例として紹介していく。
			514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	6-3-6	令和4年度にスマホ操作教室を実施。	令和5年度にスマホ操作教室を実施。	スマホ操作教室について引き続き実施していく。
	計画策定以降の新規取組み				6-3-7	（該当があれば記入）		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	【参考】令和4年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	令和5年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名					
検討域 体性を 制を づ踏 くま りえ た 買 い 物 困 難 者 対 策 に 向 け た	買い物弱者のニーズ把握と地域内で買い物支援をしてくれる互助体制づくり	(高齢者、障がい者等の買い物に関する困り感やニーズの把握に取り組みます。) (買い物困難対策に向けた役場の推進体制の構築と、地域性を踏まえた買い物困難者対策に向けた検討体制づくりに取り組みます。)	414支え合う地域福祉の推進	子育て・福祉課	6-4-1	令和5年3月に次期障害福祉計画策定のために障害者の方にアンケートを実施 ・余暇活動や社会参加、通院などの外出の目的が何かでは、「買い物」の割合が53.4%で最多 ・外出で不便を感じたり困ることでは、「交通機関の利用が不便」の割合が25.7%、「介助者がいないと外出できない」の割合が18.9% ・新型コロナの影響により日常生活で困っていることでは、「買い物に行きづらくなったこと」の割合が21.9% ・福祉サービス以外で今後どのような支援が必要と思うかでは、「外出のときに車で送迎してくれるサービス」の割合が17.5%、「買い物など外出に付き添ってくれるサービス」の割合が13.6%、「食事の配達サービス」の割合が13.0%となっている。 障害に関係なく外出がしやすい取組（南伊勢町お迎えバスなどの取組）ができたが外出時の付き添いなどに課題がある。	令和5年度は計画策定作業部会、自立支援協議会でアンケート結果について、協議しました。 ヘルパーなどの介護人材不足の課題があります。	買い物だけでなく、障害者の移動の支援について、既存のサービスも含めて検討していく。
	計画策定以降の新規取組み				6-4-2	(該当があれば記入)		

調査票④ 第4次南伊勢町総合計画SDG s 項目実施状況調査

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。（複数選択可）		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 （該当するSDG s ゴール）
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
111	商工業の持続化と雇用の促進	観光商工課		○		8.働きがいも経済成長も 9.産業の技術革新の基盤をつくろう	8.働きがいも経済成長も 9.産業の技術革新の基盤をつくろう
112	地域資源を活かした観光の魅力 創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課		○		9.産業の技術革新の基盤をつくろう	9.産業の技術革新の基盤をつくろう
113	活気ある水産業の実現	水産農林課		○		海洋資源（藻場）保全活動、未利用魚等の活用 による食品ロスの削減。	1.飢餓をゼロに 12.つくる責任つかう責任 13.海の豊かさを守ろう
114	魅力ある農林業の実現	水産農林課	○		樹園地団地の整備により、省力化等生産者の負担 軽減を図り継続した生産を目指す。		8.働きがいも経済成長も 9.産業の技術革新の基盤をつくろう
211	災害に強いまちの確立	防災安全課		○		防災研修や防災イベントを開催し防災への意識 向上を図っています。	11.住み続けられるまちづくりを 13.気候変動に具体的な対策を 17.パートナーシップで目標を達成しよう
212	治山・治水・海岸の保全	建設課		○		安心・安全に住み続けられる町にするために、 大雨などの自然災害に強い施設整備を行っています。	11.住み続けられるまちづくりを 13.気候変動に具体的な対策を
213	水道の安定供給	上下水道課		○		水道の安定供給のため老朽管更新・連絡管整備・ 基幹施設更新・緊急時給水拠点確保等事業により水道施設の整備に努めている	6.安全な水とトイレを世界中に 11.住み続けられるまちづくりを
214	交通と生活の安全安心対策	防災安全課		○		関係機関と連携し防犯意識の高揚と、交通安全 意識の啓発活動を行っています。	16.平和と公平を全ての人に
221	住環境の整備	管財契約課		○		・既設の町営住宅について、需要バランスを踏 まえながらストック総合改善事業を実施します。 ・公園整備 ・空き家バンク利用促進 ・若者用住環境の改善の促進	3.全ての人に健康と福祉を 11.住み続けられるまちづくりを
222	道路基盤の整備	建設課		○		産業や経済活動の基盤となる道路の整備及び維持 管理を行っています。	11.住み続けられるまちづくりを

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。（複数選択可）		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 （該当するSDG s ゴール）
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
223	交通手段の充実	環境生活課	○	○	安価な交通アクセス確保	安価な交通アクセス確保	11.住み続けられるまちづくりを
224	生活排水対策の推進 （持続可能な生活排水対策）	上下水道課		○		水洗化促進補助金を交付し下水道への加入促進を行い、水洗化率の向上に努めている。	6.安全な水とトイレを世界中に 11.住み続けられるまちづくりを
225	生活環境の保全と環境美化	環境生活課	○	○	チャイルドシートやベビーカー、子供服、家具類等、廃棄物として子供の成長に併せ住民の方から廃棄物として排出されたものを、そのまま使用できるもの、少し手を加えることにより引き続き使用できるものは、清掃や簡易修繕を施し、廃棄物として処理せず、リユースする取り組みを開始した。 （目標11.12.13）	総合計画の関連計画である一般廃棄物処理基本計画に基づき3R ⁺ を実践し、鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターにおける可燃ごみのサーマルリサイクル(ごみ発電・排熱利用)によるCO ₂ 排出量の削減や資源ごみのリサイクルを実践している。 また、各種クリーン作戦により生活環境の保全と環境美化、陸上・海洋プラスチックの削減に寄与する事業を実施している。 （目標11.12.13.14.15）	11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 13気候変動に具体的な対策を 14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさを守ろう
226	社会保障の健全な運営	税務住民課		○		特定健康診査や人間ドックの受診勧奨	3.全ての人に健康と福祉を
311	子育て支援の充実	子育て・福祉課		○		保育所の業務ICT化により業務の効率化を図り保育の質の向上および安全管理体制を整えています。	3.全ての人に健康と福祉を 4.質の高い教育をみんなに
312	若者定住・移住対策の推進	まちづくり推進課		○		空家バンクの登録者を増やし、空き家を活用した定住・移住者のための専属の移住コーディネーターとともに移住相談を行っています。住まいと仕事をセットに相談できる体制を整えています。	8.働きがいも経済成長も 11.住み続けられるまちづくりを
313	学校教育の充実と環境整備	教育委員会		○		ICT等の活用など情報教育の整備行っています。地域と学校との繋がりを深め、郷土愛の醸成に努めています。	4.質の高い教育をみんなに 11.住み続けられるまちづくりを 17.パートナーシップで目標を達成しよう

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。（複数選択可）		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 （該当するSDG s ゴール）
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
314	地域での青少年の健全育成	教育委員会		○		青少年育成町民会議の諸行事	4.質の高い教育をみんなに 16.平和と公正をみんなに 17.パートナーシップで目標を達成しよう
313	生涯学習の充実	教育委員会		○		生涯学習講座の開設	4.質の高い教育をみんなに 17.パートナーシップで目標を達成しよう
412	芸術文化の振興と 伝統文化の継承	教育委員会		○		・文化協会の文化祭開催 ・文化財保存補助金・資料館の運営	4.質の高い教育をみんなに
413	多様な人材の活躍	環境生活課	○	○	働き方や家庭内での固定的な性別役割分担を見直すことで、男女が共に家庭と仕事を両立し、充実した生活が図れるワーク・ライフ・バランスを保てるよう、男性の育児参加の推進等、意識啓発の実施を検討中。（目標5.8.17）	男女共同参画基本計画に基づき、地域づくりの場へ性別や年齢にかかわらない多様な人材の参画を促している。 また、人権施策基本方針に基づき、外国人や性的マイノリティ等、様々な人権課題に対しての正しい認識の啓発や学習体制の充実化を図っている。（目標4.5.8.10.16.17）	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
414	支えあう地域福祉の推進	子育て・福祉課		○		生活困窮者自立相談支援事業について、令和5年8月から社協に委託している。	1.貧困をなくそう 2.飢餓をゼロに 3.全ての人に健康と福祉を 17 パートナーシップで目標を達成しよう
415	高齢者福祉の充実と 地域包括ケアの推進	高齢者支援課		○		高齢者の活動支援事業（高齢になっても元気で自分らしい暮らしを続けていただくための支援） 介護サービス等の充実事業（介護事業者の持続化と人材不足解消への支援） 介護予防・生活支援サービスの充実事業（高齢者の居場所づくりや元気づくりを支援、助けを	3.全ての人に健康と福祉を 11.住み続けられるまちづくりを

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。（複数選択可）		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 （該当するSDG s ゴール）
			①SDGsについて対応・アクションを検討している	②SDGsについて既に対応・アクションを行っている			
						必要とする高齢者の日常生活への支援） 地域包括ケアシステムの深化事業（高齢者とその関係者の生活上の困り事への対応、要介護状態となった場合でも地域で自立した日常生活を営んでいただくための支援）	

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。（複数選択可）		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 （該当するSDG s ゴール）
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
416	障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課		○		就労継続支援B型事業所の移転事業、支援を行っている。	1.貧困をなくそう 3.全ての人に健康と福祉を 8.働きがいも経済成長も 11.住み続けられるまちづくりを
421	健康づくりの推進	子育て・福祉課		○		あらゆる世代の町民が住み慣れた地域で健康的な生活が確保できることを推進している。	3.全ての人に健康と福祉を 11.住み続けられるまちづくりを
511	私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	○	○	町内外との更なる多様な連携協力による新たな取り組みへのチャレンジとチャレンジしやすい仕組みづくり（目標10.11.16.17）	地域づくり支援、地域貢献促進を通じ、住民参加型のまちづくり（目標16）、パートナーシップ（目標17）、持続可能なまちづくり（目標11）を推進 議会と各種団体との意見交換（目標10） 町内外との更なる多様な連携協力による新たな取り組みへのチャレンジとチャレンジしやすい仕組みづくり（目標10.11.16.17）	10 人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
512	まちのプロモーション	まちづくり推進課		○		壁画披露式を開催し、参加者・来場者が一体となってまちのプロモーションを推進した（目標17）	17 パートナーシップで目標を達成しよう
513	自然環境の保全と脱炭素・循環型社会の形成	環境生活課		○		クールビズ・ウォームビズの推進、住宅の太陽光発電等の導入を推進することで省エネ・再エネ推進を進めています。 再生紙等のリサイクル製品の活用を推進することで、責任ある資源活用を推進しています。 電気自動車用急速充電器の公共施設設置により二酸化炭素排出量削減対策を進めています。 ブルーカーボンによる二酸化炭素の吸収固定化対策を実施することにより気候変動対策と藻場保全を併せた気候変動対策を実施しています。（目標7.12.13.14）	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。（複数選択可）		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 （該当するSDG s ゴール）
			①SDGsについて対応・アクションを検討している	②SDGsについて既に対応・アクションを行っている			
514	総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	○	○	近隣自治体との連携した住民サービスの向上策の検討（デジタル関連他）（目標11.17） 直販交流施設整備と通じた地方創生関連事業の推進（目標8.9.10.11.12.17）	町政懇談会を通じ町民意見の聞き取りを実施（目標10） 総合計画の進捗管理、総合計画・総合戦略推進会議による更なるアイデアの検討によりSDG s 項目を推進（各目標） 自治体交流の実施（酒田市等）（目標17）	8.働きがいも経済成長も 9.産業と技術革新の基盤を作ろう 10.人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任使う責任 17 パートナリーシップで目標を達成しよう
521	効果的で信頼される自治体経営	総務課		○		町内4箇所の出張所を廃止し、9箇所の郵便局で行政サービスを実施した。（目標17）	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
522	健全な財政運営	総務課		○		中期財政計画を策定し、持続可能なまちづくりが可能となるよう将来見通しを立てている。（目標11）	11.住み続けられるまちづくりを